

概要 市民のこころの健康の保持増進を図るとともに、精神障害の予防や治療、精神保健福祉体制を整備する。

総合評価

B

客観指標評価については、精神科救急医療システムの稼働開始(平成14年度)や、精神障害者居宅介護等事業の全市展開(平成15年度)により大変良い傾向にあるが、市民に施策の充実が十分認知されていないため、市民生活実感評価についてはどちらとも言えないとの結果が出ている。両評価を総合的に勘案し、施策の目的がかなり達成されていると評価する。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: a

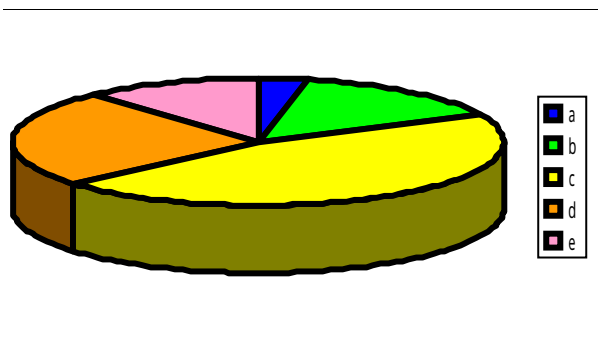
指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

評価

精神障害者居宅介護等事業の延べ利用時間数(時間)	2997.5	9361.5		a
精神科救急医療システム相談件数(件)	1067	1602		a

この施策に関する市民生活実感評価

精神に障害のある人への保健、医療、福祉サービスが充実している。



答a: そう思う	11	3.3%
答b: どちらかというと思う	49	14.8%
答c: どちらとも言えない	151	45.6%
答d: どちらかというと思う 思わない	81	24.5%
答e: そう思わない	39	11.8%
有効回答数	331	
市民生活実感評価		c

<参考> この施策実現のための主な事業

事業名

- 精神科救急医療システム
- 地域精神保健福祉対策
- 精神病院実地指導, 実地審査
- こころの健康増進センター管理運営(センター事業)
- こころの健康増進センター管理運営(デイ・ケア事業)
- 精神医療費公費負担(事務部分)
- 精神医療対策
- 京都市精神医療審査会
- 社会適応訓練事業
- こころのふれあい交流サロン
- 精神障害者保健福祉対策(手帳の交付)